



DNW-20020 の概要

課題番号 : DNW-20020

課題名 : 腫瘍微小環境を標的とした革新的キメラ抗原受容体 T 細胞療法の
検証

主任研究者 (Principal Investigator) :

越智 俊元 (国立大学法人愛媛大学大学院医学系研究科)

課題番号 DNW-20020 では、がん細胞に発現する特定分子を標的とした、新たな造血器腫瘍、固形がんの細胞療法の創出に取り組んでいる。

- 創薬コンセプト :
特定分子を標的としたキメラ抗原受容体 T 細胞を用いたがん治療

- ターゲットプロダクトプロファイル :
現在のキメラ抗原受容体 T 細胞療法では効果が不十分と考えられる造血器腫瘍、ならびに固形がんに対する新たな治療薬開発

- 創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス :
以下のことが PI 等により明らかにされている。
 - 1) キメラ抗原受容体 T 細胞の抗原認識部位を調律する独自技術を用いることで、増殖能、生存能および腫瘍浸潤能を向上させた新型キメラ抗原受容体 T 細胞を作製することに成功した。さらに、新型キメラ抗原受容体 T 細胞が、従来型と比較して高い抗腫瘍効果を誘導することを確認した。
 - 2) 特定分子は、がん細胞に特異的に発現している新規標的分子である。その機能性については、ノックアウトマウスを用いた研究を通して検証した。

- 最終目標 :
新規特定分子を標的とした新型キメラ抗原受容体 T 細胞を作製し、特定分子が発現する腫瘍細胞に対する機能性を評価する。

本資料は、創薬総合支援事業 (創薬ブースター) による支援の終了時の情報をもとに作成しています。